

開運招福・無病息災を 祈願する勇壮なまつり

2/
3・4

第44回登別温泉湯まつり

2月3日(火)・4日(水)の2日間、登別温泉とカルルス温泉で「第44回登別温泉湯まつり」(市、登別観光協会主催)を開催しました。同まつりは、登別温泉の豊富な湯量と多彩な泉質に感謝し、開運招福・無病息災を祈願するまつりとして、毎年2月3日・4日に開催されています。

湯の守り神である『湯鬼神』が商店やホテル、旅館などで『湯鬼神かぐら』を披露して厄を払い、泉源公園では『子宝もちつき舞』の披露やおしるこの振る舞いが行われました。

4日の夜には、泉源公園で『源泉湯かけ合戦』が行われ、氷点下10度の寒さの中、紅白に分かれた下帯姿の若者約100人が、勇壮に湯をかけ合いました。紅組が勝つと湯の温度が上がり、白組が勝つと湯量が増えると言われており、こじは紅組が勝利を飾りました。



▲勝利を喜び合う紅組



▲ホテルに現れた湯鬼神



▲泉源公園で行われた子宝もちつき舞



▲給食を食べ、思わず笑顔がこぼれる参加者

**子どもたちの体と心を
養う学校給食を知ろう**

第5回のぼりべつし学校給食展

1月30日(金)、市民会館で「第5回のぼりべつし学校給食展」(市主催)を開催しました。この催しは、市内の小・中学校の児童生徒や市民に学校給食に対する意識と理解を深めてもらうことを目的に実施しているものです。会場では、栄養教諭による食育相談や手洗い指導のほか、学校給食の体験として、登別牛を使用した牛丼の試食会が行われました。参加者の羽澤ケイさんは「子どもたちが給食を通して、登別牛のような地域の食材に興味を持つと良いですね」と話してくれました。

1/
30

鬼たちが 福のお裾分け

2015年鬼まつり

1/
24

1月24日(土)、市内の公共施設や商業施設、飲食店などで「2015年鬼まつり」(同実行委員会主催)が行われました。

鬼や福の神の衣装をまとった「元鬼ふりまき隊(豆まき隊)」が、各会場で太鼓や鐘、笛などを鳴らしながら、無病息災・家内安全・商売繁盛を祈願。保育所では、鬼の登場に驚き、泣きだす子どももいる中、「福はく内、福はく内」との掛け声とともに、元鬼ふりまき隊へ向かい元気に豆をまく子どもの姿が見られました。



▲鬼に驚き、泣きだす子ども



▲急速充電器で充電中の電気自動車

電気自動車の普及と 二酸化炭素の削減を

電気自動車急速充電器供用開始

2月2日(月)、市は、市役所前に設置した電気自動車急速充電器の供用を開始しました。

この急速充電器は、電気自動車の普及や二酸化炭素の排出量削減を図るため、国などからの補助により、市が昨年12月に設置したもので、約30分で充電が完了します。

供用後は、早速、市民や観光客が訪れ、電気自動車に充電していました。

急速充電器は、試験運用として、3月末までは、土・日曜日、祝日を除く毎日9時から17時までの間に無料で利用することができます。



▲講師の日本での苦勞話を熱心に聴く参加者

アメリカの暮らしと 日本との違いを知る

国際理解講座

2月17日(火)、市民会館で、登別市外国語指導助手のアンドリュー・スピーカーさんを講師に『国際理解講座』（市主催）を開催しました。この講座は、市民の国際理解を深め、国際交流を推進するために開催しています。

アンドリューさんは、写真の入ったスライドを交えながら、故郷のアメリカ・ペンシルバニア州やアメリカでの日本アニメの人気、日本での暮らしの感想などについて紹介しました。

講座に参加した方は、「陽気な講師やアメリカの大きな家の写真が印象的でした」と、笑顔で感想を話してくれました。



登別ブランド推奨品に 新たに3品が仲間入り

平成26年度登別ブランド推奨認定証交付式

2月17日(火)、市役所で、『平成26年度登別ブランド推奨認定証交付式』（登別ブランド推進協議会主催）が開催されました。

今回、新たに認定されたのは、(株)伊奈不動産の『のぼりべつエゾシカ大和煮』・『のぼりべつエゾシカ味噌煮』と、(有)やきとり一平登別店の『登別美乃素物語』の3商品です。

同協議会会長の成田光男さんは、「今回の認定により、乳製品や水産加工品のほか、畜産加工品が加わりました。登別の食の多彩さを生かしながら、登別ブランド推奨品のPRに努めたいです」と話していました。



▲新たに登別ブランド推奨品に認定された3品（ビノス貝を使った『登別美乃素物語』（右）、エゾシカ肉を使った『のぼりべつエゾシカ大和煮』と『のぼりべつエゾシカ味噌煮』）

